

高島市議会会派
夢ネット
たかしま

早川ひろのり 市議会レポート



2019
冬

発行責任者:早川浩徳 〒520-1613 高島市今津町上弘部452 TEL:0740-22-0250 E-mail: hiro_0202aq@tulip.ocn.ne.jp
http://www.hayahiro.net



皆様には日頃から温かいご支援を賜り感謝申し上げます。今回は今年一年の活動についてお知らせさせていただきます。大きな内容としては「新環境センター」「琵琶湖周航の歌資料館」などを取り上げています。

新ごみ処理施設の立地は安全安心が第一！

新環境センターの立地条件は、安全安心の懸念があると判断し、可決すべきでない
と判断しました。

朽木宮前坊地先を建設予定地として新環境センター建設が計画されました（下記地点）。



ここは、滋賀県の「地先の安全度マップ」によると100年確率で7メートル近く、200年確率で8メートル近くもの浸水が予想される場所です。さらには、山と山に挟まれてすぐ下流の荒川地先との間には高岩橋が架かっており、非常に川幅が狭く下流へ水が流れにくくなっています（狭窄部地形）。

こうした地形は、河川防災の専門家によると、以下のような問題があるとのこと。

- ・河川整備の進捗に関わらず水が集中する
- ・浸水リスクを回避する方法は非常に難しい
- ・リスク低減するためには、狭窄部（高岩橋～荒川地先）を広げるしかない。

→下流の対策が必要。

滋賀県内でもこうした地点は数箇所しかない

とされています。

また、今回の取得用地については、大量の雨が降った際に下流へ水が一気に流れることを防ぐため一時的に水を貯めておく遊水機能を持っています。これは、堤防の一部に空いている部分を作っておき（霞堤：かすみてい）、大量の降雨時に河川流域全体の被害の軽減を防ぐもので、戦国時代に武田信玄が考案したとされています。

河川防災は、上流から下流までのバランスを保つことが重要と言われています。この地点を触ることは遊水機能の低下の可能性があります。その結果、水流や下流への水量や流速、水圧の変化などさまざまな影響が考えられます。しかし、市からはこれらに対する明確な回答は得られていません。また、県による調査等も結果はまだの状態です。

地球温暖化などによる異常気象の結果、超大型の台風やこれまで経験しなかったような大雨の可能性も言われています。そうした中で、今回の用地を選択することは将来にわたって市民の皆様と安全と安心を第一に考える上で疑問があると言わざるを得ません。

議会ではこんなことをやりました

一般質問

1年間の議会での主な一般質問は以下の通り。

1. 子育て世帯への切れ目のない支援について
現在、共働き家庭の増加、核家族化など子育て世帯の環境に大きな変化が起きています。そうした中で、子どもが保育園などから小学校へ上がると預けるところがなくなる、長期休暇中に見てもらえない、などから働き方を変えざるを得ない母親も多いと聞きます。こうした「小1の壁」問題を取り上げました。地域学校協働活動など、地域、家庭、学校が連携して子どもを守り育てるネットワーク作りが重要などの答弁を頂きました。

2. Society 5.0について本市の考え方は
少子高齢化と人口減少が進む高島市で、将来にわたり持続可能なまちづくりを行うためには、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも取り入れられているSociety5.0と呼ばれるAIなどのICT技術を活用したスマート社会などの考え方が重要となります。教育分野でのこれからの未来社会を担う人材の育成、健康管理や見守りサービスへのICT利用、観光でのICTを使った効果的な魅力発信の方法など、民間事業者との連携や実証実験含め取り組んでいきたいと答弁をいただきました。

3. サイクルスポーツによる観光振興と健康づくりについて

ビワイチが盛り上がる中、観光だけでなく健康づくりでも大きな効果のある自転車について、活用推進のためにさらなる積極的な取り組みが必要では、という質問をしました。観光面ではサイクリングマップの作成を計画し、健康づくりでは市民の関心を高めるための機運の醸成を図りたいと答弁がありました。

4. 鳥獣被害におけるICT技術などの先進技術を活用した効果的な対策について

近年は、サルやイノシシなど鳥獣被害が深刻化しています。また、本年はクマの出没が多くなっています。

こうした現状に対してAIなどのICT技術をはじめとした先端技術を活用して抜本的な対策や駆除、動物の出没の予測等につなげる方策について質問・提案をしました。

5. 本市における結婚支援について

少子高齢化による人口減少が進む中、全国の自治体で結婚支援、縁結び支援が積極的に行われています。

子育て環境の充実が進められている高島市でも、子育ての入り口である結婚支援を積極的に進めるべきという質問をしました。

琵琶湖周航の歌資料館は地域の皆様とともに

琵琶湖周航の歌資料館の今津東コミュニティセンターへの移転が進められています。琵琶湖周航の歌は、本市のみならず県民の宝であり、地元今津をはじめ多くの方々に愛されて支えられてきた歴史があります。移転の方針に対して5月には市民グループから市へ説明会の開催を求める請願が出され、可決されました。また地元6区から説明会の開催を求める要望が出されました。12月議会の産業建設常任委員会での私の質問

に対して、市の担当部局からは、移転後について現在の建物は新たな利用の方法などについて地元を含めて協議を行う、また入り口の看板はこれまで通り東コミセンにも設置すると答弁頂いています。近江今津駅と今津港を結ぶ良い立地からの移転で、入館者が減らないようこれまで以上にしっかり取り組んで頂きたいと考えます。

